

エネルギー消費性能計算プログラム（非住宅版） 変更点（ Ver. 2.2.3 → Ver. 2.3.0 ）

以下の変更を行いました。

- 1) 空気調和設備の計算において、蓄熱槽容量が「0」である場合に不適切な計算結果が出力される問題を解消。
- 2) 空気調和設備の計算において、蓄熱槽がある場合において、地中熱利用熱源を選択すると適切に計算できない問題を解消。
- 3) 様式 2-5.の熱源機種を更新（ボイラ系の追加）。
- 4) 様式 2-7.の空調機タイプを更新（「天井放射冷暖房パネル」を追加）。
- 5) 機械換気設備の計算において、様式 3-2.と様式 3-3.において同じ機器名称が使われている場合に、適切に計算できない問題を解消。
- 6) エネルギー利用効率化設備の計算において、コージェネレーション設備の創エネルギー量がマイナス（増エネ）になる場合に、建物全体の計算結果に反映されない問題を解消。
- 7) 様式 8.の入力内容が、様式出力（PDF）に適切に反映されない不具合を修正。
- 8) 画面上の入力と様式 0.の内容に不整合がある場合、様式出力に通知を載せるように変更（延べ面積や地域区分等）。
- 9) API 機能において、request（XML）を使わないようにし、様式 0 から必要なパラメータを読み取るように変更。
- 10) API 機能において、特定の文字列（「氷蓄熱」等）が処理されずにエラーがでる問題を解消。
- 11) API 機能において、PAL\*が計算できない問題を解消。
- 12) API 機能において、計算結果詳細を CSV ファイルとしてダウンロードできる機能を追加。
- 13) その他微調整。

以 上